

# 教育哲学研究

第103号

2011

## 研究討議 言語・道徳・知識——知の教育の可能性を求めて——

- あえて、今「学校知」のほうへ …………… 森田 伸子  
高い公共性・倫理性と言語運用能力の育成  
——知識基盤社会における大学教育の一つの在り方—— …………… 丸山 恭司  
共存在の言表——道徳と倫理感覚—— …………… 田中 智志  
研究討議に関する総括的報告 …………… 鳥光 美緒子／松下 良平

## 課題研究 教育学的知の「地平」を問う——教育学における「宗教的なもの」——

- 近代教育におけるホリスティック教育の位置づけ  
——Ch.テイラー『世俗の時代』を手がかりに—— …………… 室井 麗子  
江戸儒学の思想空間とその教育認識 …………… 山本 正身  
人間形成論における生・経験・形而上学——教育学知の「地平」を問う—— …………… 高橋 勝  
研究討議に関する総括的報告 …………… 舟山 俊明／田代 尚弘

## 論文

- L. コールバーグのジャスト・コミュニティにおける社会化に関する考察  
——J.M. ボールドウィンの理想自己をてがかりに—— …………… 小林 将太

## エッセイ

- コメニウスと見る世界 …………… 井ノ口 淳三

## 教育哲学を考える

- おお、ホレーショよ …………… 西村 拓生

## 特定課題研究助成プロジェクト報告

### 「教員養成課程における教育哲学の位置づけに関する再検討」

- 研究プロジェクト三年目の報告 …………… 林 泰成  
小中学校教師は教育哲学の有用性をどのように考えているか …………… 林 泰成  
実践としての理論、あるいは教育哲学の代替不可能性  
——教員養成における教育哲学の有用性に関する調査研究(3) まとめと提言——  
…………… 下司 晶／木村 拓也／奥泉敦司  
理論—実践論議から脱出し、教育に内在する外部の確保へ  
——「歴史セクション」の成果と展望—— …………… 古屋 恵太  
教育哲学の〈ガラパゴス島〉としての教員養成制度と「カッコウの卵」問題  
——教育哲学(西洋)に関する「歴史セクション」の展望—— …………… 山名 淳

### 「公教育の「正当性」論のための基礎研究——近・現代の倫理学・政治哲学諸理論の比較検討——」

- なぜ公教育の正当性論なのか …………… 高宮 正貴  
公教育の「正当性」の探求——カント哲学の視点から—— …………… 鈴木 宏

公教育の「正当性」原理の解明

——ヘーゲル哲学の教育・社会構想のためのメタ方法論への援用——

…………… 菅野 一徳

公教育の「正当性」論のための基礎研究——現代リベラリズムの視点から——

…………… 平井 悠介

学校選択と価値多元社会——公教育の正当性の再構成へ——

…………… 生澤 繁樹

## 研究状況報告

心の哲学と「力」の概念

…………… 河野 哲也／松丸 啓子／今井 康雄

## 書評

藤井千春著『ジョン・デューイの経験主義哲学における思考論——知性的な思考の構造的解明——』

…………… 松浦 良充

山本正身著『仁齋学の教育思想史的研究——近世教育思想の思惟構造とその思想史的展開——』

…………… 加藤 守通

大塚類著『施設で暮らす子どもたちの成長——他者と共に生きることへの現象学的まなざし——』

…………… 高橋 勝

## 図書紹介

大野僚著『上田薫の人間形成論——新しい教育言説の誕生——』

…………… 藤井 千春

Friedrich Kümmel (Hrsg.): *Otto Friedrich Bollnow: Rezeption und Forschungsperspektiven*

…………… 岡本 英明

山上裕子著『デューイの〈教材〉開発論とその思想』

…………… 松下 晴彦

## 学会報告・第53回大会報告

## 欧文摘要

# 教育哲学会